

富士の産直市を のぞいてみよう♪



ちよっとよって鷹の市

ちよっとよって鷹の市会員の皆さま
富士市鷹岡本町1-3 (鷹岡支店敷地内)
営業時間/9:00~12:00
定休日/土曜、日曜、祝日、年末年始

生産者の「イチオシ」教えて
いただきました。

産直市の情報は
こちらから→




イチオシ! ミニトマト (アイコ)

1人で10袋以上買っていかれる
方もいるほど大人気のあま〜い
ミニトマト。中でも肉厚で、
かため食感の「アイコ」はお子さま
や若い方から好評です。

12月から6月末頃まで販売しています。

ウチの産直のイトコ!

偶数月にイベントを開き、会
員が焼き芋や焼きそばなどを
販売しています。

地元のおいしい新鮮野菜をより
多くの方に食べてもらえるよう、地
域密着型の親しみある産直市を目
指してがんばっています。

イチオシ! サトイモ

たくさんの種類がありますが、
ホクホク食感がお好みの方は「赤芽
(セレベス)」「たけのこ芋」「海老
芋」、ねっとり食感がお好みの方は「石川早生」「土垂
(どだれ)」がオススメ。イチオシの食べ方は「サトイモ
とイカの煮物」です!

ウチの産直のイトコ!

月曜、金曜のみの営業です
が、いつも開店前から多くの
お客さまにご来店いただい
ています。

安くて新鮮な野菜はもちろん、
「根方そば」や金山寺みそ、
だし巻き玉子が人気です。



吉永野菜市の会

吉永野菜市の会会員の皆さま

富士市比奈1448 (吉永支店敷地内)
営業時間/9:00~12:30 月曜、金曜のみ営業
※年末年始はお休み



元吉原中学校1・2年生
▲刈りとった稲を“はさ”掛けに。昔ながらの乾燥方法を学びました。



富士中央小学校5年生
▲30年以上前に利用されていた足踏み式の機械を使って稲穂からもみを取り出しました。

富士地区の生産者やJAが取り組む子どもたちへの食農教育活動をご紹介します。実りの秋が到来し、楽しそうに収穫する子どもたちの声が各所に響きました。自ら収穫した農作物は一層おいしく感じることでしよう!



みんなで食と農を学ぼう!!

～収穫の秋編～



岩松幼稚園・岩松保育園
▲畑の中には大きなサツマイモ。掘り取るのも一苦労です。



ゆきよし幼稚園
▲自分の手で収穫したサツマイモを見て、驚きとうれしさでいっぱいです。



藤田幼稚園
▲枝についた落花生のさやを一つ一つ丁寧に外していきました。

知っ得情報 JA- INFORMATION

正月用 もち米 販売中

～今年はお餅、ついでみませんか?～

年末特別価格

10kg **4,770円**(税込)

5kg **2,420円**(税込)



※12月1日～12月31日までの特別価格です。
※数量がなくなり次第、販売終了となります。

注文先

須津宮農経済センター TEL.0545-30-8380
伝法宮農経済センター TEL.0545-67-0117
大淵宮農経済センター TEL.0545-30-6770
岩松宮農経済センター TEL.0545-67-0130

年金相談会のご案内

《支店/木曜相談会》

開催日	場所	電話	時間
12月7日(木)	橋下支店	0545-61-0916	14:00~19:00
1月11日(木)	富士川支店	0545-81-1025	14:00~19:00
1月18日(木)	須津支店	0545-34-0810	13:00~19:00

《ホワイトパレス3階/日曜相談会》

2月4日(日)	9:30~15:30
----------------	------------

社会保険労務士による個別の相談会です。(おひとり様30分程度)予約制ですので、各支店または下記までお問い合わせください。

お問い合わせ JAふじ伊豆 富士地区本部地区金融課
TEL 0545-51-2123



▶強盗訓練の様子

▼警察署員(右)と共に対処法を確認する職員

田子浦支店で強盗訓練 防犯意識を高める

10月中旬、田子浦支店で富士警察署の協力のもと強盗を想定した防犯訓練を行いました。

訓練は客を装って入店した犯人が、窓口職員に刃物を突き付けて金銭を要求するという想定。職員らは大声で脅迫する犯人に驚きながらも速やかに警察へ通報し、犯人の特徴や服装、逃走方向などを伝えました。

訓練後、警察署員から対処法などの説明があり、職員は万一の事態に備えて熱心に耳を傾け、防犯意識を高めました。



JA自己改革

▲飛行するドローンを観察する部会員

今宮のシキミ畑でドローンの飛行実験

富士地区しきみ部会は9月下旬、今宮のシキミ畑で農薬散布用ドローンの飛行実験を行いました。実験では農薬の代わりに水を散布し、葉への水のかかり具合を確認しました。

富士市特産のシキミは出荷まで3年かかり、1年ごと植え替えをするほか、芽摘みや草取り、土壌作り、病害虫防除など手間をかけて美しいシキミに仕上げます。ドローンの使用で防除作業の負担軽減が期待されます。部会員は「実用化にはまだまだ検証すべき点はあるが、将来的に使用できるようにできれば画期的だ」と話しました。



JAふじ伊豆 合併2年目

8地区の垣根を越えて交流しています

富士地区 × 三島函南地区



▲三島の生産者からサトイモの栽培方法や出荷時の注意点を学ぶ参加者

サトイモを富士市の特産物へ

富士地区本部は市や富士農林事務所と協力し、サトイモの産地化を目指す取り組みを始めました。9月26日には富士農林事務所主催の「露地野菜栽培研修会」にJA職員も参加し、富士市の生産者と共に三島地区のサトイモ生産者のほ場を視察。栽培方法や収穫・出荷時の注意点などを学びました。

市場関係者の話によると、現在市場でサトイモは特に需要が高く、高品質でまとまった量の出荷が求められています。今後富士地区本部はサトイモ栽培を推奨し、農家組合員の農業所得の向上を目指します。



富士地区 × 伊豆の国地区



▲ハウスで育苗中のワサビを見学する参加者

ワサビ栽培の増大を目指す

9月26日、伊豆の国地区地域農業振興協議会のメンバー19人が大淵営農経済センターを訪れ、同センター管内で栽培するワサビ苗の視察を行いました。富士地区では伊豆の国地区からの要請を受け、約8年前から大淵を中心にワサビ苗栽培が始まりました。標高が高く、水が豊富であることが苗の栽培に適しており、需要も高いことから生産者数は当初の3人から13人に増加。出荷本数も昨年度の37万6千本から今後約70万本まで伸びる見込みです。当JA全体でもワサビ出荷数のさらなる増大を目指します。



富士地区 × なんすん地区



▲活発な意見交換を行う女性部役員

女性部役員が親交を深める

8月31日に富士地区となんすん地区の女性部本部役員交流会を開催しました。お互いの地区の特産物やおすすめスポット、女性部に入ってよかったことや現在の課題点などを班に分かれて話し合い、代表者が発表。女性部活動の活性化に向けて、さまざまな情報や意見交換を行いました。同時に富士市の三水園や沼津市の金岡産直市などを訪れ、買い物や見学を楽しみながら親交を深めました。



元吉原地区の水田で裏作栽培講習会

須津営農経済センターは9月下旬、元吉原地区で地区の生産者を対象に、水田を利用した裏作栽培講習会を開催しました。同地区内の多くの水田では、水はけの悪さから野菜の裏作が難しいとされてきました。

講習会では壮年部部長の二見雅己さんやJA職員が講師となり、参加者は土壌の性質に合った栽培方法を学びながら約3000㎡の水田にキャベツなどの苗を植えました。今後生育調査を行いながら、良質な野菜の裏作栽培に取り組みます。



▲野菜苗移植機でキャベツや白菜の苗を定植



▲藤森さん(右)の指導を受けながら丁寧に苗を植えました

大淵第一小2年生が地元特産物の苗植え

9月中旬、大淵第一小学校の2年生77人が、同校の畑にカリフラワーとブロッコリーの苗の定植を行いました。生産者の藤森守さんとJA職員の指導のもと、児童たちは約230本の苗を植えました。来年1月頃の収穫に向けて児童が草取りや水やりを行い大事に育てていきます。

藤森さんは「最近では野菜を食べない子どもが増えていると聞けが、自分で育てた野菜は喜んで食べてくれる。体験を通して地元の特産物に興味をもってほしい」と話しました。



岩松・松岡地区の生産者で構成される「岩本山」とかりがね堤を守る会

は9月上旬、同地区5カ所の遊休農地にソバの種まきを行いました。同活動は県が推進する美しい景観や農地を未来につなぐ「ふじのくに美農里プロジェクト」の一環で、種まきには当JA女性部富士地区本部岩松支部の部員も参加しました。

10月初旬にはソバの花が見頃を迎え、畑一面に真っ白な花が咲き誇りました。11月に収穫したソバは地域の福祉施設などに提供される予定です。



▲種まきをした女性部の皆さま



◀10月初旬には畑一面にソバの花が咲きました

岩松・松岡地区 遊休農地をソバ畑へ

